

2023年12月 1日

宮城県教育委員会教育長 佐藤靖彦 様
宮城県教育委員会委員 各位

管理職を含めた全教職員のジェンダー平等研修についての請願書

私たちは、共学教育の充実には欠くことのできない**管理職を含めた全教職員のジェンダー平等研修の実施を重ねて(再度)請願いたします。**

請願の趣旨

現代社会においては、人権にかかわる「ジェンダーとは何か」「なぜ男女共同参画社会の実現が、21世紀わが国を決定する最重要課題か」(男女共同参画社会基本法前文)という視点からの学び直しが喫緊の課題です。学校教育の現場においても「ジェンダー平等と男女共同参画の重要性」「LGBTIに対してどう対処すべきか」等々の課題も含め、共学教育をより実質的なものとする必要に迫られています。具体的には、「ジェンダーに関する理論の体系的学習」「ジェンダー平等の重要性」の研修が是非とも必要です。管理職を含むすべての教職員に定期的・継続的にジェンダー平等の研修を実施するよう請願いたします。

請願の理由

2022年6月、私たちは「共学教育の今」をテーマとして、元高校校長先生や現役の高校生をパネリストに招き、シンポジウムを開催しました。そのなかで見えてきたのは、ジェンダー平等の考え方がまだまだ生徒たちにも教職員全体にも浸透していないということです。

2023年9月には、「ジェンダー平等と教育の役割」をテーマに講演会を開催しました。

教育社会学が専門の講師(大学教授)は、「①宮城県は女性校長が少ない。②学校教育の現場では『隠れたカリキュラム』によってジェンダーバイアスが生成・再生産されることがある。③教育における『隠れた統制機能』を見抜く力を身につけ行動することが重要である。」と指摘しました。

なお、私たちは以前から高校見学などの際、先生方や生徒たちから話を伺い「ジェンダー平等についてよく理解されていない」と感じていました。そもそも「ジェンダーとは何か」「ジェンダー問題とはどのようなことか」ということを全ての教職員が正しく理解し実践していなければなりません。昨年のシンポジウムでも今年の講演会でも、そのことを改めて強く実感させられました。

以上、ここに請願書を提出し、県教育委員会におかれましては、さらなる共学教育の充実に向けて早急に取り組まれますよう強く求めるものです。

県立高校共学教育の充実を求める会
仙台市太白区八木山本町二丁目11-12

共同代表

遠藤恵子



高橋 満



野呂アイ



令和7年度宮城県立中学校入学者選抜方針

宮城県立中学校における入学者選抜は、中学校及び小学校の教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 県立中学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、小学校にあっては調査書等作成のための委員会を、県立中学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 選抜方法

- (1) 入学者の選抜に当たって、県立中学校長は、調査書及び適性検査の結果に基づき、出願者の能力や適性等を総合的に審査するものとする。
- (2) 適性検査
 - イ 検査は、総合問題、作文及び面接とする。
 - ロ 総合問題は、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみるものとする。
 - ハ 作文は、与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみるものとする。
 - ニ 面接は、志願理由書を参考資料として、志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみるものとする。

令和7年度宮城県立中学校入学者選抜日程

令和7年度宮城県立中学校入学者選抜に関する日程については、下記のとおりとする。

記

- 1 県外からの出願承認願の受付
令和6年11月 5日(火) ～ 11月29日(金)午後3時
- 2 入学願書・調査書等の受付
令和6年12月 2日(月) ～ 12月6日(金)午後3時
- 3 適性検査日
令和7年 1月11日(土)
- 4 選抜結果通知書の発送
令和7年 1月17日(金)午後4時